

Rafiki 通信

2026年6月30日

第10号 大下 泰治

Mambo! 4年に1度のサッカーワールドカップが始まり、日本だけでなく、タンザニアそして世界各国でも盛り上がりを見せています。タンザニアにいる多くの人がサッカー好きで、仕事を中断して、サッカーを見ている様子をよく見かけます。「仕事しろよ」と思う瞬間はありますが、だいぶ慣れてきました。(慣れて怖い)

今月は、配属先の小学校がお休みだったので、旅行してきました。今回の旅では、**ザンビア・ジンバブエ・南アフリカ**の3か国に行ってきました。別の国に派遣されている協力隊員の活動先にお邪魔したり、様々な観光地に行ったりと最高の旅ができました。今回はそんな旅の様子を中心にお伝えしていこうと思います。

～観光地編～

・ビクトリアフォールズ (ザンビア・ジンバブエ)



ザンビア・ジンバブエの国境にある。(幅約 1.7km、高さ約100m)
世界三大瀑布の1つで、**世界遺産**にも登録されている。
小型ヘリに乗って、滝・虹・動物を空から見ました!
水量が多く、近づくと雨が降っているかのようにびしょ濡れになります。

・マトボ国立公園 (ジンバブエ)



巨大な花こう岩がある**世界遺産**。
野生のサイも生息。(写真:白サイ)
古代の岩絵も残されており、現地の人々にとって神聖な場所です。

・喜望峰 (南アフリカ)



アフリカ大陸南西端にある岬。
「**希望の岬**」として知られてきた。
近くには、野生のペンギンやダチョウなどが生息していました。

・テーブルマウンテン (南アフリカ)



山頂が平らな形をした、ケープタウンを象徴する名峰。ロープウェイで山頂へ登り、大西洋や市街地を一望してきました。

・ロベン島 (南アフリカ)



昔、政治犯が収容されていた島。
アパルトヘイト撤廃に尽力し、南アフリカ初の黒人大統領となったネルソン・マンデラ氏も長年収監されていた場所です。

～隊員の活動先編～

ザンビア・マザブカ



青少年活動
一緒にサッカー！

ジンバブエ・ブラワヨ



学芸員
国立美術館に訪問

ジンバブエ・ブラワヨ



コミュニティ開発
老人ホームに訪問

ジンバブエ・ハラレ



ラグビー
一緒にラグビー！

*赤字は隊員の職種

～食事編～

ザンビア



↑かつ丼

ジンバブエ



↑牛肉

南アフリカ



↑生牡蠣



シマ

シマとサザはタンザニアでいう「ウガリ」。(地域で呼び方が違う)



サザ



ワイン

(ワイナリーに行きました!)

今回の旅を通して

今回の旅では、多くの人との出会いや会話を通して、自分自身の活動を改めて見つめ直す貴重な時間となりました。また、各地で活躍する隊員の姿を見て、「**一人ではない**」という心強さを改めて実感しました。

協力隊としてタンザニアで活動しているからこそ、観光だけでは味わえない現地の人々との交流や、新たな「アフリカ」の魅力に触れることができ、多くの学びや気づきを得ることができました。

今回の旅で出会ったすべての人への感謝を胸に、これからの活動にも生かしていきたいと思います。本当に最高の旅でした。



サンセットクルーズ！
(お気に入りの写真)